

2019年6月27日
日本船主協会 海務部

海技者への道しるべ ～神戸大学海事科学部 1年生を対象とした講演会を実施～

日本船主協会では2008年7月より「人材確保タスクフォース(TF)」を結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

活動の一環として、この度、2019年6月21日(金)に、神戸大学海事科学部の1年生を対象に講演会を実施しました。

この度は、海事科学部に在籍する1年生200名を対象に、講演会を実施しました。本講演会は多くの学生に海運の役割や海技者の魅力を伝えることを目的としており、必修授業の時間を用いて実施されました。

担当教員よりコースの説明があった後、約70分間を用いて、当協会より田中常務理事と國塩が、日本の海運業界の役割や重要性、海技者の仕事や魅力、キャリアパスについて、画像や映像を交えながら伝えました。船のスケールの大きさには、驚きの声があがっていました。

また、昨今海事センターが学生を対象に行ったアンケート結果をもとに、船員の労働環境などの業界の現状についてもQ&A形式で伝えました。特に、船内のインターネット環境に関しては、学生にとって、気になるポイントのようでした。

講演後には、学生のうちに取得できる資格についてなどの質問が挙がり、質問に答えるとともにアドバイスをしました。

人材確保タスクフォースでは、今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していくこととしています。



講演会の様子